

カッティング熱転写シート 取扱説明書

01. データ作成： カットライン
02. カット
03. ヒートプレス
04. ロールの保存、衣類の洗濯・お手入れ・保存

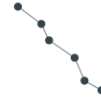
カッティング熱転写シート

データ作成

カットライン:

推奨

原寸で確認出来ない程の細かいカットラインは、出来る限り単純化して下さい。



1200%拡大時



150%拡大時



単純化後

ワンポイントアドバイス

Adobe Illustrator の場合：オブジェクト → パス → 単純化

推奨

- 1) デザインから 1-2mm 外に四角のラインを描くことによって、誤って他のデザインを剥がしてしまう可能性を軽減することが出来ます。
- 2) さらに、角から線を描くことによって、角を浮かしてしまう可能性を軽減することが出来ます。



元データ



1



2

ワンポイントアドバイス

Mimaki FineCut の場合：Mimaki FineCut → カス取り線作成

カッティング熱転写シート

カット

- Step 1 :** このステップは、**再帰反射シルバーとカラー再帰反射**のみの作業です。
上記 2 点の熱転写シートは、ホットメルト面に**保護フィルム**がついています。
この**保護フィルム**を使用する分だけ剥がして下さい。
- Step 2 :** ロールをカッティングプロッタにセットして下さい。
このとき、PETキャリアを下側、ホットメルト面を上側にします。
出来る限りカッティングプロッタと水平になる様にして下さい。
- Step 3 :** 本カット前に必ずカットテストをして下さい。
カッティングプロッタ、使用中の刃の状態によって、圧力、刃の高さの調整が必要です。
- 圧力 :** 弱すぎるとカス取りがしづらくなります。
強すぎると次の行程で作業がしづらくなります
弱圧からテストを行い、PET キャリアを切りすぎない様に調整して下さい。
- 速度 :** 低速 (10cm / 秒) に設定します。
うまくカット出来ない場合は、速度を速めて下さい。
- 刃の高さ :** **Mimaki社のカッティングプロッタの場合**
刃がキャップから出ている長さは、出来るだけ短くして下さい。
熱転写シートの厚み(PETキャリアを省いて)に合わせる様にします。
Roland社のカッティングプロッタの場合
キャップから刃を1mmほど出して下さい。
- 刃の種類 (推奨) :** Mimaki社:SPB-0030、Roland社:ZEC-U3017
- Step 4 :** デザインを鏡像(ミラー)にして、本カットを行います。
- Step 5 :** カス取りを行います。
安定したフラットな台で作業を行って下さい。
必要な部分を残す様に行い、必要な部分はあまり浮かさない様に作業を行なって下さい。
ウィーダーを使用すると、より作業効率が上がります。

カッティング熱転写シート

ヒートプレス

	グロス & マット	エコノプリント	サーモブロック	再帰反射シルバー カラー再帰反射
Step 1: 仮プレス:	生地のみを 3-10 秒程、ヒートプレスします。 ポリエステル素材や撥水加工された素材には仮押ししないで下さい。 生地上の糸くずなどは全て取り除いて下さい。			
Step 2: セット:	熱転写マークを生地の所定の位置に置きます。 不安定な位置の場合、 耐熱テープ を使用することで仮固定が出来ます。			
Step 3: プレス 1回目:	155℃ 5 秒 圧力: 中	165℃ 10 秒 圧力: 軽	175℃ 10 秒 圧力: 中	150℃ 5 秒 圧力: 軽
Step 4: 剥離:	完全に冷めてからPET キャリアを剥がします。	温かいうちにPETキャリア を剥がします。	完全に冷めてからPET キャリアを剥がします。	温かいうちにPETキャリア を剥がします。
Step 5: カバー:	熱転写マークに離ケイ紙を被せます。 離ケイ紙は クラフトペーパー を推奨しております。			
Step 6: プレス 2回目:	155℃ 10 秒 圧力: 中	165℃ 5 秒 圧力: 軽	175℃ 5 秒 圧力: 中	150℃ 10 秒 圧力: 軽

注意: 熱転写機、生地、デザインによって、上記の設定から圧力や時間、温度を変更しなければならない場合があります。
 作業が終了した後、熱転写機、生地、熱転写シートの種類、熱転写機の設定 (圧力、時間、温度) をメモしておくことを推奨致します。
Step.4 の剥離は上記の通りで行うとデザイン・生地によってミスが起こる場合があります。事前に必ずテストを行って下さい。

多色デザイン:

1色目は、**Step.1-4**を行い、2色目からは、**Step.2-6**を行って下さい。

下側にプレスしてはいけない熱転写シート (= 一番最後にプレスしなければならない熱転写シート): **グロス**

上側にプレスしてはいけない熱転写シート (= 一番最初にプレスしなければならない熱転写シート): **再帰反射シルバー、カラー再帰反射**

カッティング熱転写シート

ロールの保存、衣類の洗濯・お手入れ・保存

熱転写シートのロールの保存についてです。

- 保存：**
- ・埃をかぶらない様PP袋などを被せて下さい。
 - ・熱転写機や水まわりの近くに保存しないで下さい。
 - ・蛍光灯などの光を避けて保存して下さい。
 - ・直射日光が当たる場所に放置しないで下さい。
 - ・高温・多湿になる場所を避けて保存下さい。

熱転写シートがプリントされている衣類の洗濯・お手入れ・保存についてです。

- 洗濯：**
- ・水温は20℃以下、弱水流に設定して下さい。
 - ・衣類を裏返し、ネットを使用して下さい。
 - ・脱水は長時間行わないで下さい。
 - ・手絞りの際には弱く行って下さい。
 - ・日陰で干して下さい。
 - ・漂白剤を使用しないで下さい。
 - ・ドライクリーニングは行わないで下さい。
 - ・タンブル乾燥は行わないで下さい。

- お手入れ：**
- ・アイロンをかける際には、あて布をして低温設定にて行って下さい。
 - ※製品の一部で、アイロン掛けを行えない製品もございます。ご注意ください。

- 保存：**
- ・よく乾いた状態で、プリント部分が折り目にこない様に畳んで下さい。
 - ・暗室で保存して下さい。
 - ・濡れたまま放置しないで下さい。
 - ・直射日光が当たる場所に放置しないで下さい。
 - ・高温・多湿になる場所を避けて保存下さい。
 - ・車中に放置しないで下さい。